

平成27年度第3回 障がい当事者支援プロジェクト 会議録

日時：平成27年6月23日（火）13：30～16：00

場所：三重県身体障害者総合福祉センター大研修室

参加者：プロジェクトメンバー8名、事務局3名

1. 前回（5月）話し合ったこと

・事務局の担当者から、前回の内容が説明されました。

・前は、「障がいのあるなしに関係なくお互いのことを理解することが大切」

という意見から、まずはメンバーの間で、自分とは違う障がいのある人の

ことを知るための自己紹介をしました。

・メンバーの中から、北岡理都子さんが自己紹介をして、他のメンバーが質問しました。

2. 今回の内容

・今回は、メンバーの中から、古謝宏二さんと宮村孝博さんが自己紹介をし

ました（お二人からお名前を記録に残すことを了解いただきましたので、そ

のまま記録に出しています）。

古謝さんの自己紹介

・私は、高次脳機能障がいという障がいがあります。

・ 20年前に交通事故で脳にダメージを受けて、性格や記おくに障がいが残りました。

・ 私だけで高次脳機能障がいのことを伝えることは難しいので、他に同じ障がいのある人にもしゃべって欲しいと思いますが、自信のない人が多いので難しいです。

・ 私は、時間をかけて、なんとかかなり回復することができました。

・ 高次脳機能障がいの方は、性格がばらばらです。他の人からは「あの人は思い上がっている」と、良く見られないことが多いようです。

・ 高次脳機能障がいは、生まれつきの障害ではなく中途障がいです。「(交通事故などのせいで)大変なことになってしまった」、「自分が一番辛い」という自我が強くなってしまいます。

・ 人とのお話も難しいです。何が言いたいかわからなくなってしまいます。

一人ではうまくしゃべれません。しゃべっている相手のことを疑ってしまったりもします。

・ よく自分をおさえることができなくなります。自分以外の自分を感じるころがあります。そういう時は呼吸がしにくくなります。

・ 高次脳機能障がいは記憶の障がい、性格の障がいだと思いますが、段差につまづいたりもします。

・ 私が、このように人前で自分のことを話すのは5回目くらいです。私の

ははおや こうじのうきのうしょう ひと しえん
母親が高次脳機能障がいの人を支援するプロジェクトをしています。

いぜん こうじのうきのうしょう いし あいだ しられて
・以前は、高次脳機能障がいのことが医師の間でも知られていませんでした。

いま しられて どうじしゃほんとう きもち
今ではかなり知られてきましたが、当事者の本当の気持ちはなかなかわかっ

てもらえません。げんかく なやまされる しんりしよく ひと いっしょ
てもらえません。幻覚に悩まされることもありますし、心理職の人と一緒に

せいかく ちりょう ひつよう びょう にて
性格についての治療が必要です。うつ病にも似ていると思います。

こころ きず なおる おもいます わたくし わるい
・心の傷もいつか治ると思いますが、私はいつまでも悪いことを

わすれられないのでなかなかよくなりません。えがお でにくい
忘れられないのでなかなかよくなりません。笑顔が出にくいです。

ひと じぶん しょう
・いろいろな人に自分たちの障がいのことをわかってもらいたい、というのが

いま わたし もくひょう
今の私の目標です。

しつもん いけんこうかん
質問、意見交換

ほか いけん
○他メンバー-意見

せつめい こじやさん
・わかりやすい説明で古謝さんのことがよくわかりました。ありがとうございました。
いました。

ほか しつもん
○他メンバー-質問

こうつうじこ
・いつ交通事故にあったのですか

こじやさん
→古謝さん

わたくし 16さい
・私が16歳ごろです。

ほか しつもん
○他メンバー-質問

・事故にあう前と後で変わったことを教えてください。

→古謝さん

・事故にあう前は、人一倍体力に自信がありましたが、今は自信がありません。行動が遅くなり、握力も弱くなりました。

・心が弱くなり、性格も悪くなりました。すぐに人を疑う気持ちが出てしまいます。積極性もなくなりました。

・いろんなこと全てが変わってしまいました。

・高次脳機能障がいの方は、いろんな人がいます。車いすの方もいますし、

身体的には特に不自由がないように見える人もいます。でも、私は健常者の

ころと障がいを受けたころの間でもだえ苦しんでいます。それは、

高次脳機能障がいの方の特ちょうだと思えます。周りの人にはわかってもら

いにくい、ころの領域の悩みです。

みやむら じこしょうかい
宮村さんの自己紹介

・私は、脳性まひのアテトーゼ型です。

・前回、北岡さんがこの障害ことを説明してくれたので、私はこの会議に

来ることになったきっかけを話します。

・父が11年前に亡くなりました。それまで風呂に入れてくれていた父がい

なくなったので、風呂に入れなくなり、困った母が市役所へ相談して、週1回

でいさーびす りよう
デイサービスを利用することになりました。これが初めての福祉サービスの
りよう
利用でした。

・ やっぱり しゅう1かい ふろ すくない でいさーびす そうだんいん そうだん
ホームヘルパーとショートステイに行ったのが初めてのホームヘルパーと
しよーとすてい りよう
ショートステイの利用でした。

・ それから びょういん かいもの しせつけんがく へるばー いける そうだんいん
病 院や買 物や施 設見 学もヘルパーさんと行けることを相談員か
ら聞き、初めて自分一人で買 物をして本 当に感 動しました。

・ ショートステイ先の相談員から家でヘルパーと風呂に入ることを
すすめられました。かいごよくしつ しょうかい
介 護浴 室を紹 介してもらい、ヘルパーさんと風呂に入る
れんしゅう
練習をして、ショートステイに行かなくても家で風呂に入れるようになりま
しました。

・ 暮らしが落ち着いてくると何かしたくなり、こえ うごくばそこん さがして
相談員に頼んだら、パソコンを探してくれて、ホームページやメールができ
るようになり世界が変わりました。

・ メールができるといつでも相談員に自分の気持ちを伝えられるので在宅

生活を続けたいと伝えました。相談員が自立生活体験室を教えてください、

5ねんかん 30 かいいじょういきました。そこで施設見学やヘルパーの使い方など

体験して、母が介助が出来なくなっても在宅生活を続けるための準備ができ
ました。

・施設見学で印象に残っているのは、名古屋の施設に行ったときに会った

「C | L」のことで、少し「C | L」について紹介します。

・昔は、障がい者の意志や自己決定権は無視されてきました。何も選べない

まま一生、親の下か病院や施設に収容されていました。しかし、1972年

にアメリカで、障がい者自身が運営し、障害者にサービスを提供する自立

生活センターが設立されました。自立生活センターが提供するサービスを

利用することで、重い障害があっても地域で自立して生活することができる
ようになりました。

・彼らが掲げた考え方は次の4つです。

①障がい者は、「地域」で生活すべきである。

②障がい者は、保護される子どもでも、崇拜されるべき神でもない。

③障がい者は、援助を管理すべき立場にある。

④障がい者は、「障がい」そのものよりも社会の偏見の犠牲者になっている。

・つまり、障がいは個性であり、変わるべきものは、人の心である。障が

いは社会が作り出したものだと考え方を変えたのです。

・このようなC | Lの事業所が名古屋にもあり、見学してきました。でもC

| Lは、かなり昔にできた考え方なので今では少しずれがあると

おもいました。

たとえば、ヘルパーを使ってすることは自分でしたことと同じだからヘルパー

を利用して健常者と同じような暮らしをすることが障害者の自立だと

教えられました。確かに昔は自立するためにそれくらいの気合いが必要な

時代もあったかもしれませんが。でも、今は障がいがあっても、健常者と同じ

ようなことができる時代になってきたと思います。どうしてもできないこと

はありますが、それをするためにがんばることや障がい者だからできること
もたくさんあるはずですよ。

・自分は障がい者だからこそできることを精一杯やりたいです。ヘルパーを

利用してもしなくても介助は必要ですが、誰が介助するかではなく、自分や

介助者がどう楽しく暮らせるか考えて自分で生き方を決めるのが障害者の

自立だと思います。

・私にとっては、施設入所した障害者は自立してないと言われた時は、

少し考え方が違うと思いました。

・おとし、母が骨折して、緊急だったので遠くのショートステイに

入りましたがそこから身動きが取れなくなりました。何とか家に戻ろうとへ

ルパーさんを探したけどC I L系の事業所しかありませんでした。

取りあえず家に戻りたかったし、父が亡くなる前の心配そうな顔が頭から

離れず、母にはこんな思いはさせたくないから、一度C I Lの自立の型には

まってみようと思ひました。

・利用してみると三重のC I Lは一番に家族の生活を大事にしてくれたので

たすかりました
助かりました。

・ヘルパーも見づかり家に帰れると思つたら、市からは半月分しかヘルパーの

利用が認められませんでした。ヘルパーが見づかったのになんで月半分しか

家に帰れないのという気持ちはあつたけれど帰れる事が嬉しかったです。

・8ヶ月ほどで母も完治し、デイサービスは気に入つたので今も毎日通つてい

ます。後は以前の生活に戻れました。

・緊急で入つたショートステイには2ヶ月いました。施設の現状を話すと、

デイサービスに比べて非常に介助スタッフが少ないため、トイレとご飯の

介助で精一杯です。軽度障がい者だと外の空気を吸いに行けますが、重度障

がい者は部屋と食堂の往復だけで全く外に行けません。せめて入所しても

移動支援などサービスが使えると良いと思ひます。

・このような現状を伝えるのが自分の役目だと思ひ、この会議に出る事にしました。

・自分はこれまで本当に良い相談員やヘルパーさんに恵まれたと思ひます。

しつもん いけんこうかん
質問、意見交換

○他メンバーから質問

・「C | L」の「障^{しょう}がいは個性^{こせい}」という考え^{かんがえ}についてはどう思いますか？私^{わたし}

は、少し美化^{すこしばか}しすぎだと思^{おも}うのですが、どうですか。

→私^{わたし}にとっては、生まれつき^{うまれつき}のものなので、これが普通^{ふつう}のことです。もっと、

障^{しょう}がいが悪化^{あつか}した時^{とき}には、また違^{ちが}った考え方^{ちがった}になるかもしれません。

○他メンバー^{しつもん}から質問

・「C | L」の考え^{かんがえ}方が少し違^{ちが}うと思^{おも}ったことや、その型^{かた}にあてはまっ

ようと思^{おも}った理由^{りゆう}をもう一度^{もういちど}教えて^{おしえて}ください。

→C | Lは家族^{かぞく}のことをあまり考^{かんが}えてくれないのではないかと^{しんぱい}いう心配^{しんぱい}があ

りましたが、あの時^{とき}はそれしか選^{せん}択肢^{たくし}がありませんでした。実^じ際^{さい}には、とて

も大切^{たいせつ}に考^{かんが}えてもらえたのでよかったです。

○他メンバー^{いけん}からの意見

・私^{わたし}は、宮村^{みやむら}さんのサービ^さス等^び利用^{りよう}計^{けい}画^{かく}作成^{さくせい}に関^かわら^わせてもらっています。

宮村^{みやむら}さんは、お母^{おかあさん}さんと一緒^{いっしょ}に暮^くらし続^{つづ}けたいと思^{おも}いを持^もっています。

初^{はじめ}めは、宮村^{みやむら}さんの介^{かい}助^{じょ}をお母^{おかあさん}さんからヘルパー^{へるぱー}さんに引^ひき継^ついでもら

計^{けい}画^{かく}を考^{かんが}えていましが、宮村^{みやむら}さん自^じ身^{しん}もお母^{おかあさん}さんも、それ^のを望^{のぞ}まれなかつた

ので、計^{けい}画^{かく}を作^{つく}り直^{なお}して、お母^{おかあさん}さんにも介^{かい}助^{じょ}を続^{つづ}けてもらうことになりまし

た。それも宮村^{みやむら}さん自^じ身^{しん}が決^きめたことなので、その想^{おも}いを支^さえていくことが

まわり^{ひと}の役^{やく}割^{わり}だと思^{おも}っています。

○他メンバーからの意見

・私わたくしも宮村さんみやむらと同じ気持ちおなじきもちです。今日きょうはすごく元気げんきをもらいました。将来しょうらいはともかく、今いまは親おやと一緒にいっしょにいたいと思っおもています。それで親おやも笑わらってくれているし、親自身おやしんの気持ちきもちも大切たいせつにしていきたいと思っおもいます。

5. 次回じかいのこと

・次回じかいは、古謝さんこしゃさんと宮村さんみやむらの自己紹介じこしょうかいについての意見交換いけんこうかんをもう少すこ

し続けるしつづけることになりました。

・古謝さんこしゃから、他の高次脳機能障こうじのうきのうしょうがいのある人ひとからも高次脳機能障こうじのうきのうしょうがいの

ことを伝つたえてもらいたい、という意見いけんがあり、古謝さんこしゃさんが他ほかに参加さんかしてくれ

るメンバーめんばーを探さがしてくれることになりました。もし、話はなしをしてくれる人ひとが

見つければ、次回じかい、その人ひとからも自己紹介じこしょうかいをしてもらいます。

・次回じかい、自己紹介じこしょうかいのほかに、「障害者差別解消法しょうがいしゃさべつかいしょうほう」という法律ほうりつが平成28年度

からスタートするのでメンバーめんばーの間あいだで勉強べんきょうしたい、という意見いけんがでました。

・次回じかいは7月28日（火）13：30～、次々回じじかいは8月27日（木）13：

30～の予定よていです。

6. 事務局担当者じむきょくたんとうしゃからのお知らせおしらせ

・7月15日～16日、22日～23日に相談員向け研修会そうだんいんむけけんしゅうかいがあるので、興味きょうみ

のある人ひとは見学けんがくに来てきてください（事前じぜんに連絡れんらくしてください）。